

事務事業評価シート

事務事業コード	5-4	第8次総合計画 実施計画			
事務事業名	道路管理費	部局名	都市整備部	担当課名	道路課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	章	3	交流と文化によるまちのにぎわいづくりと地域を支えるものづくり	事業期間	継続	
	節	1	交流と文化によるまちのにぎわいづくり	根拠法令、根拠計画等	道路法	
	細節	02	便利で快適な交通基盤の整備			
施策	03	③生活道路環境の充実				
上位の目標	目標の種類		平成16年度	平成22年度	事業分類区分	建設、整備
	緊急業務の対応率		100%	100%	会計区分	一般会計
					運営方法	直営

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市道(市道沿線の除草、植栽の剪定、冠水対策施設の維持管理、側溝の浚渫、街路等の修繕等)
意図 (どのような状態にするために)	市道の安全な通行を確保するため、危険箇所の補修及び住民或いは町内会等各種団体の要望にこたえ、市民が安心して利用できる道路環境整備に努める。
手段 (どうするのか)	市道沿線の除草、植栽の剪定、春と秋の一斉清掃のごみ回収、冠水対策施設の維持管理、側溝の浚渫、街路等の修繕等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
内容	年度別計画	除草 植栽の剪定 一斉清掃のごみ回収 側溝の浚渫 街路灯の修繕	除草 植栽の剪定 一斉清掃のごみ回収 側溝の浚渫 街路灯の修繕	除草 植栽の剪定 一斉清掃のごみ回収 側溝の浚渫 街路灯の修繕	
	年度別実績	除草 植栽の剪定 一斉清掃のごみ回収 側溝の浚渫 街路灯の修繕	除草 植栽の剪定 一斉清掃のごみ回収 側溝の浚渫 街路灯の修繕	/	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	122,236	129,110	83,675	
	直接経費 A	79,709	86,465	83,675	
	直接経費の財源内訳	国			
		県			
		地方債			
		その他	735	192	500
一般財源	78,974	86,273	83,175		
人件費 B	42,527	42,645			
職員数の内訳	正規職員	5.90	5.90		
	嘱託職員				
	臨時職員				

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動指標	1	緊急工事の件数	件	目標	100	100	100
				実績	110	92	
	(指標の説明) 緊急業務を実施し安全な通行を確保する。						
2				目標			
				実績			
(指標の説明)							
3				目標			
				実績			
(指標の説明)							

5. 平成21年度の事務事業実施概要【DO】

【事業の経過・背景】
 管理すべき市道延長の増加、道路施設の増加、老朽化により一定規模の管理費が必要である。

【事業の目的・概要】
 道路及び道路施設等の維持作業を行い、もって市道を適切に管理する。

【事業の内容】
 定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕対応、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、道路施設(鳥取駅南広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等)の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯補修作業等を直営若しくは業者に委託する。
 またその他の業務として、春と秋の全市一斉清掃のごみ回収業務、国土交通省との河川占用協定に基づく千代川の除草業務がある。
 ※その他財源は諸収入(自動車損害賠償保険金)

【事業の実績】

造園緊急業務ほか道路維持業務委託	131件	43,675千円
施設管理委託	6件	5,184千円
光熱水費	25,297千円	修繕費 8,639千円

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指標達成率	1 緊急工事の件数	件	110%	92%	
	2				
	3				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の安全を守るため、市がすべきことである。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	施設を良好に維持管理することにより安全な通行を確保している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市道の除草・街路樹の剪定については、一部地元へ委託している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民が多く利用される所を中心に維持管理を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 隔年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改革プランを記載)	道路施設の維持管理については、管理すべき施設の増加に相反して現場作業の職員が減少し、これまでの管理水準の維持が難しくなっており、外部委託など継続的な改善を行うとともに、補助金による地元委託などを検討する必要がある。	